

みんなのちから

4月1日(水) ~ 4月5日(日)

IN 兵庫県立南但馬自然学校

	午前	午後	夜
1日目	施設に向けて出発	名札作成、仲間作りゲーム 研修①「オリエンテーション」	研修②「リーダーとは？」
2日目	研修③「棒焼きパン」 研修④「野外炊飯」	研修⑤「工作」	研修⑥「キャンプファイア」
3日目	研修⑦「ホットサンド」 研修⑧「自己紹介」	まるかじりメンバー合流 レクリエーション	屋内レクリエーション
4日目	棒焼きパン作り 野外炊飯	野外炊飯 グループタイム	キャンプファイア
5日目	ホットサンド作り 清掃、思い出工作	施設を出発 解散式	

一日目： 今回は公共交通機関での移動を減らすべく、それぞれの自宅付近から社用車に乗り込み、施設へ向かいました。最初は沈黙の時間が長く、窓の外を眺める姿が目立ちましたが、好きなアニメやゲームが一致すると一気に口数が増え、意気揚々と話しておられました。施設到着時は雨脚が強まっていた為、屋内にて昼食を済ませ、名札作成後、宿泊棟のふれあいスペースで仲間作りゲームに挑戦しました。時間ごとにペアを変えて行う『共通点トーク』では、なかなか会話が弾まない組み合わせもあり、直後の振り返りで「何を話せばいいかわからなかった。」という意見に賛同する声が多く上がりました。幾つかの遊びで緊張を解した後、休憩を挟み、研修へ気持ちを切り替えました。最初の研修では、各プログラムで使用する場所の確認やその場所での約束事、シーツや布団について説明する際の注意点など、“メンバーが安全に楽しめるように”という事を踏まえて学びました。その後、夕食と入浴を終え、夜は【リーダーとは？】というテーマでリーダーについてのイメージや目標を話し合いました。意見を出し合う中で、今回のキャンプに対する想いの違いに不安を感じて涙を流すメンバーもおられ、一人一人が正直な想いを話す貴重な時間となりました。



二日目： 二日目は、実習を交えて研修を行いました。【野外炊飯】の実習では、メンバー全員がキャンプ経験者の為、安全面についての確認をして以降は自分達で作業行程を思い出しながら調理を進めました。カレー係は具材を切り、ご飯係はお米を研ぎ、下準備完了後、全員で火をおこしました。個々の作業も増える中、具材の大きさや水の量り方など、自信を持って進められない作業を前に立ち尽くす姿が見られました。「教えて欲しい。」という一言が出るまでに時間が掛かりましたが、調理後の振り返りではそのやりとりも含めて記憶に残った様子でした。午後は散歩も兼ねて【工作】の実習に使う枝を拾いました。後半はリーダー役とメンバー役を決め、ノコギリ使用時の枝の支え方や声掛けのポイントを意識しながら実践しました。回数を重ねると、少しぎこちないながらも「上手いね!」、「すごい!」と声が出るようになりました。【キャンプファイア】の研修では、ダンスとレクリエーションを決め、担当ごとに練習しました。その後は、夕食の大盛りつけ麺をペロリと平らげ、就寝前に二日間の振り返りを行いました。一日目に話しきれなかった内容にも話を広げ、ようやく全員の「リーダーになりたい!」という想いが一致しました。



三日目： ついに、グループリーダーとしてメンバーを迎える日となりました。早朝は真っ白な雲海が広がり、幻想的な光景でした。朝食はグループのペアで調理を進め、イメージを膨らませました。生活棟に戻って【ホットサンド作り】の振り返りと荷物整理を終え、グループメンバーや部屋割、プログラムの細かい流れを確認しました。昼食まではまだ時間がありましたが、少し早めに広場へ行き、ダンス練習と【自己紹介】のリハーサルを行いました。朝礼台に上がり、“印象に残る自己紹介”を目指して何度も練習しました。昼食中にバスが到着し、メンバーの姿が見えると一気に緊張が高まった様子でした。出発前にみんなで気合を入れ、メンバーのもとへ向かいました。最初の自己紹介はメンバーに大きな声が届き、想像以上の反応にとっても嬉しそうな表情でした。グループ対抗のレクリエーションでも積極的に声を掛けたり、グループから離れるメンバーを追いかけたり、沢山関わろうという気持ちが見えました。しかし、生活棟でのオリエンテーションを終えてからは口数が減り、夕食時は無言で食べ進める場面もありました。夕食後の屋内レクリエーションでは、4人の中でも様子がはっきり分かれた為、夜のリーダーミーティングでリーダースイッチが切れた瞬間について振り返り、自身の苦手な部分を強く意識しようと確認しました。



四日目： 『みんなのちから』は四日目。『春まるかじりツアー』は二日目。ジュニアリーダーのみんなは疲れが出始める頃ですが、春まるかじりメンバーは朝からとても元気です。身支度や荷物準備を済ませ、野外キッチンの席に着くと、グループごとに棒焼きパンの説明が始まりました。昨日まで戸惑う気持ちが表情に出ていたリーダーが懸命にパンの巻き方を説明したり、メンバーの動きに翻弄されていたリーダーが苦戦するメンバーの様子に気付いて素早くサポートしたり、意識の変化が行動に表れていました。その後のカレー作りでも集中力が切れる事はなく、昨日あまり話せなかったメンバーに話しかける姿、興味が逸れてウロウロするメンバーの名前を呼ぶ大きな声、経験を活かして上手く出来るコツを伝える姿、メンバーのやる気を引き出すリアクションなど、リーダーとしての存在感が随所で感じられました。また、三日目の夕方から合流したジュニアリーダーも「グループリーダーがやりやすいように!」と、全体を見守り、2つのグループを行き来しながらフォローに入っておられました。野外炊飯後は、キャンプファイアのリハーサルをする為、グループメンバーとは別の部屋に入りました。休憩も兼ねていましたが、休む様子はなく、レクリエーションの説明を復唱し、分かりにくい部分を改良していました。夕食前にメンバーと合流した際はお互い笑顔になり、食事中も笑いが絶えない様子でした。キャンプファイアは、「出〜ましょ! 出ましょ!」という元気な掛け声から幕を開けました。緊張でセリフが飛ぶ場面もありましたが、レクリエーションもダンスも大盛り上がりでした。最後のダンスでメンバーの前に出て楽しそうに踊る表情は、短い言葉では言い表せない程、輝いていました。



五日目： 最終日の朝は身支度に加えて布団畳みや荷造りなど、朝食までにやる事が盛り沢山でしたが、細やかに声を掛け進めておられました。大きい荷物をそれぞれの部屋から運び出し、グループごとに野外キッチンへ向かいました。朝食準備が始まり、グループのみんなで机を囲んでホットサンドを作る場面はとてもアットホームな雰囲気でした。朝食の終了時間が近づくと、時間を知らせる呼び掛けが全体に響き、5人で連携をとりながら片付けへと意識を切り替えておられました。その後、生活棟の共有スペースを分担して掃除し、工作を行う場所へ移動しました。ノコギリを使用する際は真剣な表情でメンバーの横に寄り添い、「こんな風にしたい!」というメンバーの要望を出来る限り実現しようと一緒に考える姿が見られました。最後の食事を食堂で済ませ、バスに乗り込み施設を後にしました。今回は解散ルートも変更した為、メンバーより先にバスを降りる人もいましたが、最後まで名残惜しそうな表情でした。また、リーダーネームで呼べる日を心待ちにしています!まったねえ~!!



<キャンプ総括>

今年の『みんなのちから』も様々な想いが溢れるキャンプとなりました。全員がキャンプ経験者の為、プログラムの大まかなイメージや楽しさは共有しやすいものの、今回のキャンプに対する不安や戸惑いがぎこちない雰囲気を生み出していました。自己表現に苦手意識を持つメンバーが判断を迷って立ち尽くす姿や、“自分にとって当たり前だと思う事”を友達にも当てはめて話を進めようとする姿から意思疎通の少なさを感じ、一日目の夜に話し合いをしました。話し合う中で感心した事は、自分や周りの為に取り繕った言葉ではなく、みんなが正直な想いを出しておられた事です。「リーダーになりたい!」という気持ちを全員で共有するまでに時間は掛かりましたが、気持ちの変化を一緒に感じた分、皆の中で重みのある言葉になりました。メンバーと合流した初日は、“見る”、“考える”、“行動する”という状況の繰り返しに混乱し、事前に決めた事以外の部分でリーダーとしての動きが止まってしまいました。しかし、その指摘を受けた次の日は、グループ付きの大人リーダーから「別人かと思った!」と言って貰える程頼もしい姿が見られ、本当に感動しました。五日間を通して、自分の事を素直に受け入れる姿勢がより多くの学びを得る機会に繋がったと感じました。一人一人の強さと弱さのどちらもが最高に輝いた五日間でした。

(生本 ひろみ)